

6・23の巨大な成功を跳躍台に

日本の大学のすべての学友諸君へ

戦後まもなくして行なわれた6・23の民族一大集会は27万人の
広大な香炉の民族を結集し、70年代の歴史を切り開くにふ
さわしい巨大なものであった。

この日、全国25都府県、約300の所で統一集会がもたら
20万人以上の民族が参加した。学生は全国149大学・212
短大が統一ストライキを実行した。(首都では21大学・
43短大) それほ、もちろん同年の大学生生活闘争をさ
うのまわり、「治安悪化」をはるかにしのぐ巨大な統一闘
争であった。

戦後以来でも700名の学友が参加し、大予モンストレー
ションをくりあげ、途中トラックストライキの妨害により組
断されたにもか、わらず、大勢の学友が最後までスト
行進を堅持し、「安保悪化」「日米戦争勝利」のショープレ
ヒコールを民族の群衆にかけさせた。

「安保」を廃棄し 中立・平和の日本を

安保条約は、過去3月10日に結ばれた日米人民を苦しめ
ているが、6月25日に期限切れがされた。しかし、民衆自
民党内閣は、日米共同声明による「戦争に「自由憲法」を
決め、国会にも民族にも3年から5年を期にわたって自決す
どようとしている。その上、この安保条約を留断的に改定
して、より経済的なものに改定し、対米従属下の半日米
半中立体制を新たな段階に押し進めようという。

すでに南米コロンビアでも報道されているように、
現在アメリカにおいて戦争に深刻なダメージをますます受
け、それに伴い失業率の増大(昨年10月には29年12月より
130万人ふとまて410万人)や大規模な反戦運動などの事態
が進行している。そういった矛盾の深まりにもかかわらず

● 戦後

アメリカは、14年間に百数十万の米軍を配置し、ベトナム
戦争などとはよく似た戦争を繰り返し、また67年渡まで
に131回日に対して1370億ドルという軍事・経済援助を行
なうなど、国体に巨額のドルをばらまいてきた。このため
日米関係を年々大きな赤字を叩き、1947年に246億ドル
といたった金(資本主義世界の金標準の70%)が8
割は7億ドルまで減るとともに、ドルに對する信頼がゆがんできた。

アメリカ帝国主義者は民族を一年にかりきりして、カンボ
ジアに侵略を開始し、さらに東洋にも巻き込んで東洋への侵略
を拡大し始めた。そういう状況の中で、日本は安保条
約の代弁者一政の自民党の専横してきていた。これにま
たそうとするものは一律糾弾、ベトナム人民をばかめ、民
族の独立と平和を願うアジア人民に対する帝国主義の
の流弊は、日本を民族に侵略的勢力のたつたということも我々
はしっかりと胸にとりよう。

すべての学友諸君へ

敵々の前には立つ準備があるのか?

日本独占資本は、アメリカの「買収のツツ」として、その民
族戦争に一切参加しようと、自に強いつつと自らの反動政策
さまざまな策術を行なっている。もし、我々日本の学友が
こうした事柄もすべてをこらえて見ているならば、我々の集
会はそのため意図的なものとならざるを得ない。我々のア
シエンの民族の道が、安保条約を廃棄して中立・平和の確
立の日本を創るのかという点の違う路線を走らざる
を得ない前には立つ準備がなければならない。

6・23の成果をもとに強大な統一戦 線をめざし持続して闘おう

安保条約を廃棄し、中立の全動政策を断るとして、中立・
平和の日本を創るために、今後と同等な保証は自民党内閣
を打倒する。我々無党派とする政治一民主連合政府を
創るべきことである。6・23に25都府県で統一集会を行
なしたことは巨大な統一戦線ができたことである。また、我々
は、この統一した力を経済的体さらに発展させなければならない。

すべての学友は民青同盟の旗の下に

我々、民青青年同盟は日本の統一、中立、平和、中立
のために、また、日米の民主化のために、すべての青年
の支援に立ちあがるものである。そして、すべての学友
は、民青同盟の勝利に協力するよう活動に参加し、闘争の本
のこころ、固く抱擁してかぎりなく前進しよう!

電話：281-0673

民青同盟日大理工班